

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	科学官の運営等			担当部局庁	研究振興局		作成責任者
事業開始年度	平成16年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	学術企画室		学術企画室長 名子 学
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文部科学省組織規則 第53条第2項、第62条第1項・第2項・第5項、第69条の2第1項・第2項・第4項			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定)		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-2 基礎研究・学術研究の振興						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-24-2.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	我が国の学術研究の振興に関する施策を研究現場の実態に即したものとするため、専門的知見を有する大学等の研究者を科学官及び学術調査官(非常勤の国家公務員)として採用し、必要に応じ適切な指導、助言を受ける。						
現状・課題 (5行程度以内)	科学官及び学術調査官が有する専門的な知見をより効率的かつ効果的に活用するために、指導・助言等を得るための機会を他の審議会等に合わせて同日に実施するなど、引き続きコスト削減や効率化に向けて工夫していく必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	科学官は、学術に関する重要事項の企画及び立案に参画する。学術調査官は、学術に関する事項についての調査、指導及び助言に当たるほか、特に科学研究費助成事業については、研究経験のある専門的知識を有する者として、文部科学省が所管する研究種目の審査・評価の運営等を行う。 本事業は、科学官及び学術調査官が上記職務に当たった際の給与・旅費を支給するものである。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	29	27	24.6	25	25
		補正予算(B)	-	-	0.5	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	0.2	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	29	27.2	25.1	25	25	
	執行額(G)		20	19	18		
	執行率(%) =(G)/(F)		69%	70%	72%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		69%	70%	72%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究振興費			-		
	(目)	非常勤職員手当	22	22			
	(目)	委員等旅費	3	3			
		その他					
	計(A)		25	25			

事業所管部局による点検・改善																											
点検結果		科学官及び學術調査官の指導・助言等のための勤務日数については、目標値に対し、9割以上の達成状況であった。これは、高い専門的識見を有する有識者からの指導・助言等を得る機会を着実に確保したと言える。 引き続き、指導・助言等を得る機会を適切に確保しつつ、そうした機会の確保に向けては他の予定と合わせる等により事業の効率化・コスト削減に努める。															目標年度における効果測定に関する評価（令和〇年度実施）										
改善の方向性		引き続き、助言・指導等を得る機会については他の予定と合わせる等の方法により事業の効率化・コスト削減に努める。																									
外部有識者の所見																											
外部有識者による点検対象外																											
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見																											
事業内容の一部改善		アウトカムが複数段階設定できないとしているものについて、事業効果を適切に測るために複数設定できないか、引き続き検討されたい。																									
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況																											
執行等改善		事業効果を適切に測るためにアウトカムを複数設定できないか、引き続き検討を行う。																									
過去に受けた指摘事項と対応状況		公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ																									
		上記への対応状況																									
		その他の指摘事項																									
		上記への対応状況																									
備考																											
-																											
関連する過去のレビューシートの事業番号																											
平成23年度	230																										
平成24年度	243																										
平成25年度	219																										
平成26年度	216																										
平成27年度	204																										
平成28年度	203																										
平成29年度	211																										
平成30年度	210																										
令和元年度	文部科学省	-			0201																						
令和2年度	文部科学省				0208																						
令和3年度	2021	文科		20	0226																						
令和4年度	2022	文科		21	0224																						

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
18百万円



A. 個人（全53件）
18百万円

〔 会議出席等に係る手当・旅費 〕

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者
について記載する。費目
と使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
職員手当	非常勤職員手当	0.6			
旅費	委員等旅費	-			
計		0.6	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

